

第11回「チャリティウォーク&ランフェスティバル」

交流会を開催

10月20日(日)に開催予定だったSON・東京恒例のイベント「チャリティウォーク&ランフェスティバル」は、朝からの大雨により、その実施内容に大幅な変更がありました。「みんなde 駅伝 @お台場」および「宣言タイムレース」は、11年目にして初のレース中止となり、代わって江東区立東雲小学校体育館で交流会を実施しました。

会場に集まったのは、宣言タイムレースに参加予定だった全チーム。開会式では岡松武司理事長と横濱信一SON理事より挨拶があり、続いて様々なチーム対抗ゲームが行われ、会場全体がおおいに盛り上がりました。

なかでも「紙飛行機飛ばし競争」は、全員が紙飛行機を折り、一番遠くまで飛んだ人がいるチームが決勝に進むというもの。体育館の端まで飛ばす飛行機あり、くると回って足元に落ちる飛行機あり。大人も子どももみな大喜びで、会

場は大きな歓声で包まれました。

そして最後は、全員でダンスです。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでも踊られている「グッキーダンス」で、アスリートも企業ランナーもいきなり最高潮に！ 続く「ドレミの歌」「おさかな天国」ではSON・東京の役員も加わり、参加者全員が2時間という開催時間を、めいっぱい楽しみました。



お手伝いいただいたボランティアの皆様、ご協賛いただいた企業・団体の皆様、本当にありがとうございました。一方、せっかくお越しいただいたのに、ほとんどジョブがなくなってしまった大勢のボランティアの方には本当に申し訳ございませんでした。

悪天候の中での開催でしたが、「交流会は楽しかった」という声が多く聞かれたことが良かったと思います。
(第11回チャリティW & R フェスティバル実行委員長 朝岡美好)




第1回「2013年SO アジア太平洋大会」に参加

オーストラリアのニューキャッスルで11月28日(木)～12月7日(土)に開催された「2013年スペシャルオリンピックスアジア太平洋大会」に日本選手団45名が参加。SON・東京からはバスケットボール10名のアスリートが出場しました。次号(Vol.62)で、詳しいご報告をいたします。



代表選手とコーチのみなさん

「2013年SON・東京バスケットボール6会場合同交流会」開催

9月14日(土)、15日(日)の2日間にわたり、「2013年SON・東京バスケットボール6会場合同交流会」が、目黒区後援のもと目黒区立中央体育館で開催されました。

この交流会は、SON・東京のバスケットボールプログラムの各会場(千代田、多摩、代々木、世田谷、杉並、目黒)に参加しているアスリートが一堂に集まり、日頃の練習の成果を発表する場の1つとして、毎年開催されているイベントです。今年も、SON・神奈川とSON・栃木のアスリートも参加しました。

また、14日午前には「目黒区民とともにバスケットボールを楽しむ会」が開かれ、SON・東

京のアスリートと「目黒区手をつなぐ親の会」が合同練習やミニゲームを実施。「目黒区バスケットボール同好者チーム」とは、ユニファイド・イベントを行いました。

14日午後からはジュニア、シニアの女子の試合、ユニファイド・プログラムによるエキシビションゲームを実施。翌日15日には東京A、B、Cのファースト・ディビジョンとセカンド・ディビジョンの各チームと神奈川A、Bのチームの熱戦に続き、「SOアジア太



平洋大会」に遠征する選抜チームSON・栃木対SON・東京の白熱したプレーが繰り広げられ、2日間の幕を閉じました。

「2013年第9回SON関東ブロック水泳競技会」共催(主管:SON・埼玉)

9月16日(月・祝)、「第9回SON関東ブロック水泳競技会」が、埼玉県上尾市さいたま水上公園室内プールで開催されました。今年度は、「2013 SON・埼玉 設立10周年記念第7回埼玉大会」と同時開催です。台風18

号が日本列島を縦断した悪天候で参加を断念した地区もありましたが、SON・東京の水泳競技プログラムからは14人が出場。地元埼玉と東京の選手たちとのデッドヒートに、プールサイドから大声援が送られました。



「SON・埼玉大会」と「SON・神奈川地区大会」に参加

「第7回埼玉大会」は上尾運動公園一帯で開催され、フロアホッケー、卓球、陸上競技の各プログラムのアスリートが参加して、練習の成果を発揮しました。

また10月13日(日)に障害者スポーツセンター「横浜ラポール」で開催された「2013年第

14回SON・神奈川地区大会」には、フロアホッケー「ウインターチャレンジャーズ」が参加し、神奈川チームとの交流を深めました。



ボート体験会

11月4日(月・祝)、東京海上スポーツ財団よりボート体験会にご招待いただき、SON・東京のアスリートとファミリー6組12名が参加しました。

準備体操を行ったあと、練習機を使って陸上で漕ぎ方の練習を行い、そして実際にボートに乗ってコースを回りました。東京海上日動ボート部の皆さんが丁寧なわかりやすく漕ぎ方の指導をしてくださり、アスリートもファミリーも皆真剣に取り組んでいました。

途中から雨が降り出してきましたが、雨にも負けずに最後までボートを漕ぐ姿はみんな立派でした。参加したアスリート、ファミリーからはすごく楽しかったとの感想をいただき、普段の生活ではできない貴重な体験をすることができました。そして、体験会のあとは、ボート部の皆さんと昼食をとりながら交流を深めました。

このボート体験会は今年で8回目の開催であり、毎年ご招待をいただき、東京海上スポーツ財団および東京海上日動ボート部の皆様には心より感謝御礼申し上げます。(事務局 前田伸吾)



「ナショナルミーティング」に参加しました

11月2日(土)、3日(日・祝)の2日間、全国各地で活動するSOメンバーが一堂に会す「ナショナルミーティング」が、国立代々木オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。SON・東京からはアスリート会の横山達也さん、中根晃さん、菊池隼さんが受付等を、鬼頭良平さんがアスリートスピーチコンテストの審査員として、運営の協力をしました。

当日のプログラムは、基調講演の他、アスリートスピーチコンテストや作品展示会、分科会など、実に多彩。いずれのプログラムも、全国各地のメンバーが日頃の思いやこれからのSO活動に関する思いを共有する、とてもよい機会になりました。定期的を実施されるイベントですので、これまで参加したことのない方も、ぜひ次回は一緒に参加しましょう。(事務局 増田絵里)

～あつまれバスケット好き～ SONT Support Basketball Tournament 2013

SON・東京の協賛企業と、アスリートやボランティアコーチがバスケットボールを通して交流を図る「SONT Support Basketball Tournament 2013」が、12月8日(日) 筑波大学附属中学・高校体育館で行われました。

参加企業は、J.P.モルガン、Citi、ジブラルタ生命保険、ドイツ銀行グループ、UBSの5社。各社

のバスケットボール好きと社内応援団やその家族が、SON・東京バスケットボール杉並会場の通常練習に参加した後、企業対抗試合を実施しました。対抗試合には、SON・東京のバスケットボールコーチで編成するチームも加わり、大熱戦! 試合の合間には、社会人チアリーディングチーム「ブルー・ライ

オンズ」の応援や、誰でも参加できるバスケットボール遊びなどで交流を図る機会も用意され、SON・東京のみならず協賛企業にとっても、とても有意義な1日となったようです。



SON・東京の協賛企業と役員一同が親交を深める「感謝の集い」

12月6日(金)、毎年恒例の「感謝の集い」が八芳園にて開かれました。これは、日頃からSON・東京を協賛している企業および団体を招待し、その年の活動報告と感謝の意を表すというイベントです。SON・東京からは、岡松武司理事長をはじめ、理事・監事といった役員と各委員会の関

係者が参加し、協賛者との親交を深める活動に努めました。



加美山節 SON・東京名誉会長が亡くなりました

SON・東京名誉会長である加美山節さんが9月11日、享年93歳にて永眠されました。加美山さんは、SON・東京の初代理事長およびSO日本の初代副理事長として活躍。日本YMCA同盟理事長という公益法人経営のスペシャリストとして、また金融機関勤務というビジネス経験を活かした的確な助言で、日本におけるスペシャルオリンピックス活動の導入および普及、さらには本部と地区組織の運営にも多大な貢献を果たされました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



第8回チャリティゴルフ大会

10月28日(月)にSON・東京支援第8回チャリティゴルフ大会が、千葉県得我孫子ゴルフ倶楽部で開催されました。天候にも恵まれ、130名近くの方にご参加いただき、同大会からSON・東京の活動のために100万円が寄付されました。

WORKING ATHLETES

働くアスリートたち 第19回 鈴木美江子さん(41歳)

西武多摩湖線の八坂駅近くに、開店して34年、地域の人たちに親しまれている「ダイエー小平店」があります。このお店で、鈴木美江子さんは18歳のときから働いています。

▶ 顔なじみのお客様もたくさんいます

鈴木さんは、入社当初は青果物の仕分け、その後はお店の内外の清掃を担当。現在は顧客サービス課サービス担当係として、食品レジまわりの清掃、買い物かごやショッピングカートの片づけなど、1日中、店内でお客様と接する仕事をしています。

「かごを運ぶ時は、小さいお子様などお客様にぶつからないように気を付けています。お客様から商品の場所を質問されたときに、どこに



買い物かごを整理

あるのかわからない場合は売場担当者に確認してからお客様をご案内しています」

上司の顧客サービス課長の伊藤達人さんに、鈴木さんの仕事ぶりについてうかがいました。

「担当が食品レジのと

ころです。値段の確認や商品の交換などのお申し出に自ら動いたり、該当部署に連絡をとって対応しています。さまざまなお客様がいらっしゃいますので、単純な仕事ではありません。状況に合わせて対応するという難易度の高い仕事に、一生懸命取り組んでいると評価しています。長年勤めていますので、知り合いのお客様もたくさんいるようです」

お店の開店時間は、朝9時から夜9時。シフト勤務で、11時から19時の日も、9時から15時の日もあり、平均して週30時間働いています。木曜日には開店前のパンの品出しも手伝っています。いくつかの仕事を経験した鈴木さんは、「どれも大事な仕事」と受け止めています。「一番大変だったのは、お店の外に木がたくさんあるので、落ち葉の時期の掃除でした。いまは、お客さんに聞かれてわからないときがちょっと大変です」

▶ スポーツが大好き。手話もできます!

鈴木さんは体を動かすことが大好きです。休日は、SON・東京の活動のほか、卓球で全国障害者スポーツ大会に出場したり、テニス、バドミントンやスキーも楽しんでいます。「じっとしているのが嫌いなので、家にいることは絶対ない。朝9

時に障害者スポーツセンターに行って、1日、いろいろなスポーツをしています。スペシャルの卓球が午後3時からのおときは、9時から2時の勤務にしてもらっています」

また「ろうのひとと友達になり、会話をしたい」と、自宅のある武蔵小金井市の手話教室で手話を学んで、もう6~7年。耳の不自由なお客様とも手話で会話ができます。

伊藤課長に、鈴木さんに期待することをお聞きしました。

「明るく元気で前向きな性格が、小売業に適していると思います。時には厳しいことを言うこともありますが、めげずに頑張っています。スポーツで培ってきた気力・体力とガッツがあり、貴重な戦力です。1人でも多くのお客様に『鈴木さんがいるから』と買い物にきていただけるよう、働き続けてもらえればと思います」

鈴木さんは「明るいのが私の取り柄。これからも頑張ります」と話してくれました。23年勤続は素晴らしいこと。これからも、仕事にスポーツに活躍してください。(卓球プログラム多摩会場に参加)



伊藤課長と鈴木さん

アスリート：和田勇人さん 父：和芳さん 母：久子さん

ホップ ステップ ジャンプ Vol.5

親の気持ち



勇人さん(中央後ろ)の姪を囲んで。両親(左側)とお兄さん(右側)

和田勇人さん ● 1986年生まれ。2004年にSON・東京入会。参加プログラム：水泳競技、ボウリング

私共には3人の子どもがいます。3人とも男の子です。長男は今年32才、二男は27才、三男は22才になりました。子どもたちはどんどん成長し、親離れをしています。ただし、二男の勇人はそれが難しいと思っています。それは、彼がダウン症だからです。

1,000人に1人は生まれるといわれるダウン症ですが、2～3年前に妊婦の検査で胎児がダウン症かがわかるようになったらしいです。おなかの赤ちゃんがダウン症とわかって、産む人が何パーセントいるのだろうか。私共は勇人がダウン症であることを悔やんだりしたことはありません。そのまま、受け止めてきました。ただ、医者には、ダウン症の子どもたちは寿命が短いとか、脳年齢が5～6歳止まりとか、マイナスのことは言わないでほしかったと思いました。幸いに、勇人はとても才能に恵まれていました。そして、努力家です。

勇人は、故郷の福島県で昭和61年10月に誕生しました。病院の医者からダウン症であることを告げられたのは、生まれて1週間後でした。私共にダウン症の知識もなく、それからの子育ては戸惑いの毎日でした。上京してから、心臓の異常・小児性白血病のため、入院も4年(調子が良い時は外泊が許されましたが)、鮮血の輸血を毎月のようにしました。勇人の隣のベッドにいた同じ白血病の子が突然、帰らぬ人になっ

たのはショックでした。

自分の子どものためなら少しも苦労と思いませんでしたが、勇人の兄弟には親として充分なことが出来なかったことが、とても申し訳ないと思っています。思い出すのは、勇人の兄が病室の外から窓ガラスを隔てて、弟の勇人を励ます姿です(小学生までは、病室に入れませんでした)。また、勇人が治療を終えたころ、妊娠しました。婦人科の先生に羊水検査を依頼したところ、先生は「検査を勧めません。もし、異常があれば、おろすのですか」と聞かれましたが、そんなつもりはなく、出産前にもしも異常がわかって

も産するつもりでした。自分たちは覚悟をして、赤ちゃんの誕生を待ちたいと思ったからです。検査の結果は異常がありませんでした。

私共の子育てには私共の親・兄弟をはじめ、たくさんの人にお世話になりました。勇人が小学2年生のときの詩が先生にとっても褒められたのを覚えています。それは「さくら、はなびら」という短い詩でしたが、さくらが風に散っている様子を詠んだとのことでした。筋力が弱く、くちびるから舌が出ている状態では、言葉もはっきり聞きとれませんでした。

兄が水泳教室に通っていた関係で、勇人も水泳教室に通い始め、少しずつ体力がついたようです。何年もなかなか進級ができませんでしたが、健常児のなかで楽しそうに頑張っている姿にほっとしました。養護学校のころ、スペシャルオリンピックスの水泳競技プログラムに参加させていただき、今日にいたっています。その後、SO冬季世界大会・長野の撮影クルー“ピリブ”の一員として、いろいろな経験をさせていただいております。

仕事は、ヤマト運輸(株)のグループ会社「ヤマトパッキングサービス(株)」に勤務しています。毎日、元気にはりきって仕事をしていますが、最近仕事の上司や同僚との関係に苦労しているようです。私共は、今後とも、勇人が社会人として、元気に活躍してもらいたいと思っています。

今後の予定

- ・3月8日(土) 定期総会
- ・未定 2013年SOアジア太平洋大会報告会

参与のご紹介

清水 潔氏
(明治大学研究・知財戦略機構特任教授／元文部科学事務次官)

活動に関心のあるアスリート募集中です。 お問い合わせ・お申し込みは SON・東京事務局まで。

法人・団体・個人会員募集中

SON・東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

正会員 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員 (一口)年：3,000円～

郵便振込口座：00140-1-723232

※便利な口座振替をご用意しています。
※法人・団体会員については、事務局までお問い合わせください。

事務局からのお知らせ SON・東京事務局は2013年12月30日(月)から2014年1月3日(金)まで冬季休暇をいただきます。

SON・東京
オフィシャル
スポンサー

ThreeBond

UBS

citi

Deutsche Bank Group

富士ゼロックス東京株式会社

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.61

発行所：〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

編集元：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

編集人：岡松武司

編集スタッフ：SON・東京広報委員会／石橋泰介(デザイン)

定価：100円(代金は会費に含まれています)



Special Olympics
Nippon
Tokyo

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20

東京YMCA東陽町センター内

TEL:03-3615-5569

FAX:03-3615-5581

E-mail:office@son-tokyo.or.jp

web:http://www.son-tokyo.or.jp

Update

登録アスリート数：1,458名

正会員数：1,068名

(2013年11月30日現在)